

平成20年12月9日

新型インフルエンザ H5N1ウイルス 家族をまもるためには…。

12月に入って、寒くなってきました。

風邪をひかれている方はいらっしゃいませんか？

今回は世間の関心が高い新型インフルエンザについてご案内いたします。

新型インフルエンザではないものの、すでにインフルエンザのために学級閉鎖になった兵庫県内の学校もあります。

厳しい経済状況の真っ只中ではありますが、まずは“身体が資本”の皆様が元気にこの年末を乗り越えるためのお役に立てればと思います。

インフルエンザウイルスは常に変化し毎年のように流行します。通常は小さな変化で人間も免疫力を高め対抗できますが、新型インフルエンザは別物です。

たとえば、鳥のインフルエンザウイルスが人から人へ感染する型に変異したもので、数十年に一度発生すると言われています。人間に免疫力が備わっていないため、世界的な大流行となり高い死亡率を伴う可能性があります。専門家の間では「近い将来、確実に大流行する」との見方があります。

1918年の「スペインかぜ」では世界で5億人が感染し、死者が4000万人以上。

1957年の「アジアかぜ」では死者200万人といわれています。

現在、最良かつ確実な対策は「なるべく自宅にいて、他人との接触を避けること」と言われています。抗インフルエンザ薬「タミフル」などの薬は全国民に行き渡るだけ備蓄されてはいません。先日、TVで言っていたのは3,000万人分らしいです。それも医療関係の方々、政策・行政に係るの方々などの順で使用されるので一般国民には行き渡らないようです。万が一のとき、家族を守り、大流行を防ぐには今のところ自宅にこもるしかないようです。

厚生労働省も各家庭で最低二週間分の食料や日用品を備蓄するよう呼びかけています。備蓄の基本は地震への対応と一緒ですが、新型インフルエンザ対策として重要なのは不織布製のマスクや速乾式の消毒剤です。

《新型インフルエンザ 家庭の備え》

備蓄品 食料（長期保存できるもの）

コメ・乾麺類・切り餅・調味料類・レトルト食品・缶詰・菓子類・ミネラルウォーター

備蓄品 医薬品・日用品

マスク・ゴム手袋・水枕／氷枕・消毒用アルコール・せっけん・常備薬・ガーゼ・キッチン用ラップ・ビニール袋（汚染されたゴミの密封に利用）

せきのエチケット

せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。

鼻水などを含んだティッシュはすぐに密閉容器に捨てる。

せきをしている人はマスクを着用する。

最近、TVなどで取り上げられることが多くなった新型インフルエンザですが、各人それぞれが注意し、備えておかなければならないことはもちろんですが、あまり神経質になることはなく、ベトナムやインドネシアでは鳥などの発生源の対策がとられており、非情に騒がれた2年前より発症は減少しているようです。

まずは手洗い・うがいはお忘れなく！

過去一覽

過去の内容をご覧いただける方は左記のボタンをクリックして下さい。

多鹿会計事務所 所員 平戸

メール

お電話でのお問い合わせは平日午前9時～午後5時まで承っています。

多鹿会計事務所

〒675-1332 兵庫県小野市中町320-8 TEL 0794-62-5666 FAX 0794-64-2037

